



野外ステージ



お化け屋敷のスタッフ

今年度はさらなる「飛躍の年」の第1歩目として、137人の実行委員で挑んだ淑楓祭。今年度の一番は、なんとと言っても長久手キャンパス新目玉企画「お化け屋敷」。「淑楓祭に来たらまずコレを楽しまなきゃ!」というイチオシ企画を創ろうと練りに練ったものでした。当日は1000人近くもお客さんが行列をつくる大ヒットで、狙いは間違っていないかったと安堵した実行委員の面々。本当に良かった!

1日目の「インリン・オブ・ジョイトイライブ」では、少しでもたくさんのお客さんに楽しんでもうという気持ちで、インリンさんからの直筆サインを直接手渡す抽選会などもあって、大盛り上がりでした。

2日目は後夜祭に吉本興業の「ネゴシックス」と「ブロードキャスト」をゲストに招き、



合成写真撮影の1コマ

後夜祭だけで来場者1300人を越す大イベントとなりました。

今年のテーマは「淑宴」。咲き乱れる桜の下で誰もが楽しく和気藹々と楽しめる、夜桜の花見会場のような学祭を目指し、ほほ思い通りに運営できたと満足しています。もちろん、行き届かないところも多く、反省点もいっぱいですが、これらすべてを後輩へと引き継ぐことを重ね、より充実した淑楓祭のための貴重な財産にしていきたいと思っています。

企画数、模擬店数、ご協賛企業数、実行委員数そしてす



野外ステージ



フリーマーケット



後夜祭



本学学生のパフォーマンス

長久手
キャンパス
大学

テーマは「淑宴」。天候にも恵まれ、来場者は過去最高の二万人超!

第31回 淑楓祭

2006.11/4(土)~5(日)

昨年度は学園創立100周年、大学創立30周年で、学園全体が大きく盛り上がった1年でした。今年度、さらに飛躍の年にしようと学生たちが挑んだ淑楓祭の様子を、両キャンパスの学園祭実行委員長がレポートしてくれました。



装飾された長久手キャンパス正門



星が丘キャンパス1号館の大階段

星が丘
キャンパス
大学

「ドロップス」になったキャンパスに、7000人以上が来場

今年度は一昨年の盛り上がりを引き継ぎ、日頃学内で活動している学生の活動の成果をお見せすると共に、様々な世代に合ったゲストを呼ぶことで大学に足を運んでいただく良い機会をつくられたら、と考え、星が丘キャンパスをドロップス(アメ玉)の缶に見立て、その中に入っている色とりどりの個性あふれる学生たちを皆さんに見て、感じて、味わって欲しいという思いから「ドロップス」というテーマのもと、実行委員一同力を合わせてきました。当日は天候にも恵まれ、来場者数は星が丘キャンパス史上最多となる7190人となりました。

1号館では、ゼミサークル・学外団体による教室企画やフリーマーケット、星が丘キャンパス伝統のお化け屋敷が行われました。教室チャンプフ

今年度の大学祭は、学校関係者をはじめ多くの方々の協力が必要でした。成功を収められませんでした。関係者の方々、大学祭に来てくださった7190人の来場者の方々、そしてピカピカに輝いていた学内のみんな。1人1人に感謝いたします。本当にありがとうございました!

リマチャンプを目指してそれぞれが工夫を凝らしたため、大変賑わいのあるものになりました。お化け屋敷には例年以上にたくさんの方々が出来、大好評でした。

オープンスペースには野外特設ステージが建ち、バンドやダンス等の団体やお客さんが参加するゲーム企画で盛り上がりました。その隣では、去年以上に規模が大きくなった模擬店街が賑わいをみせ、お客さんを満足させていました。



模擬店参加団体

修学旅行レポート

九州 長崎・阿蘇・越後柳川・島原城

2006.10/23(月)~27(金)・

10/24(火)~28(土)

被爆体験談に涙も…。平和への誓い、心新たに



長崎・爆心地公園で平和宣言文を読み上げる



中岳の噴火口

長崎での2日目の朝、8時半から1時間の予定で長崎平和推進協会の下平作江さん、安井幸子さんがそれぞれ自らの被爆体験を語ってくださいました。

生徒たちは、「目をつぶりたくて、耳をふさぎたくて仕方なくて、涙があふれてきて……」「今の平和を私たちが守っていかなければ」「核兵器をなくさねば」などの感想を寄せてくれました。

長崎の爆心地公園に行き、千羽鶴を献じ、黙祷し、平和宣言文を読む。この修学旅行の重要な目的が生徒にしみ通ったようです。

あり、事前学習を十分にして、それを自分の足で歩き、頭で考えてみることでできる絶好の機会です。特に長崎は江戸以降、外交の重要な土地であり、学ぶべき歴史、文化的遺産が多い。長崎のグループ研修は生徒が計画して浦上地区、大浦地区などを勉強したのですが、5時間半くらいの日程なので、慌てて動いたようです。来年はゆつくりと勉強してほしいと思っています。

その他にも、阿蘇のカルデラ、中岳の噴火口、越後柳川、島原城など、見るべきものの学ぶべきものが多い九州修学旅行でした。



夜宵《よさこい》

べてにおいての質など全面的に飛躍を成し遂げた第31回淑楓祭を楽しんでくださったお客さんは、淑楓祭史上最多の1万700人にもものぼりました。淑宴を満喫し、時間を忘れて遊び疲れて千鳥足で家路に着いた方がいらしたのならば、うれしい限りです。



後夜祭

研修旅行レポート

沖縄 2006.11/1(水)~3(金)

沖縄の歴史と文化、平和を学んだ3日間



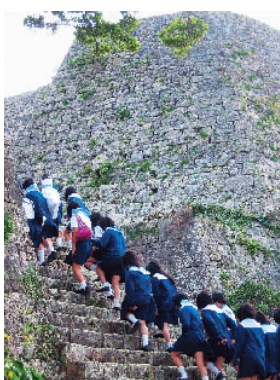
沖縄体験学習
さとぅきび収穫体験(右)
三線(サンシン)体験(上)



平和学習(講話)



国際通り散策(公設市場食堂)



中城城跡公園

中学3年生は4月から総合学習の時間を利用して、「沖縄の歴史や文化」「平和学習」を柱に、沖縄について理解を深めてきました。

1日目、あいにくの雨模様でしたが、生徒たちは恩納村商工会にて、体験学習をおこないました。沖縄の伝統菓子を作ったり、サトウキビの収穫を楽しんだり、本土では味わうことのできない貴重な体験を通して、沖縄の歴史や文化の一端を垣間見ることができました。

2日目、沖縄戦をテーマに平和について理解を深めました。実際に沖縄戦を体験された崎山トミ子さんからお話を聞きました。お話の最後に「みなさんはお母さんになるのです。戦争を決して他人事と考えるのではなく、次の世代にその愚かさを伝えてほしい」とメッセージが託されました。お話のお礼として学年全体で「童神」の合唱を企画しました。お話を聞いて「童神」の歌詞の意味がどのようなものかよく理解できたようで、生徒たちは涙ながらに合唱をしていました。

3日目、生徒たちは国際通りの散策を待ちに待っていたようです。昼食も各班で決めて食べることにしました。公設市場の食堂などを利用して、沖縄の味を思い思い堪能できました。

わずか3日間でしたが、生徒たちにはよい思い出となったことでしょう。